

緊急安全情報

平成 30 年 4 月 4 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採 取 責 任 医 師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄採取後、点滴台に設置されたコレクションコンテナが落下、骨髄液の一部が流出した事例について（ご報告）

このたび、骨髄採取後、濾過のためコレクションコンテナの上部にあるハンガーを使用し点滴台に設置後にコレクションコンテナが落下、骨髄液の一部が流出した事例が報告されました。

本委員会としては、今後、同様事例が発生する可能性があることから、当該事実を各採取施設に対し情報提供し、注意喚起を促すこととしました。

<経過>（採取施設からの報告書より抜粋）

9：00 手術室入室
9：25 骨髄採取開始
11：45 骨髄採取終了

コレクションコンテナ内総量	：	1415ml
骨髄液量	：	1200ml
ヘパリン	：	15000 単位(15ml)
生理食塩水	：	200ml

11：47 骨髄液をフィルターに通すため、コレクションコンテナのキャップを閉め、添付文書に従い点滴台に留置し、クランプを開放する作業に遷る際、点滴台からコレクションコンテナが落下（作業者はクレンメの方を見ていた）。落下の衝撃でキャップが開き、骨髄液が流出。至急、キャップを閉めたが 473ml の骨髄液が床に流出した。残る（清潔な）骨髄液はフィルターにかけて量、細胞数を測定し 2 バックへ分注した。

骨髄液量	：	953 g 942ml、
細胞数	：	1.459× 10 ⁸ /Kg(患者体重)

<対策>

対策等につきましては、当該施設からの検証結果も踏まえ、あらためてご通知いたします。

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会 担当:折原
TEL：03-5280-2200

以上